

*2026 年 10 月 改訂(第 2 版)
2021 年 6 月 作成(第 1 版)

医療用品(04) 整形用品
高度管理医療機器 一般の名称: 体内固定用プレート JMDN コード: 35241003

JEIL OMFS システム G3

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止
3. 感染症又は感染が疑われる患者〔整備不良、遷延治癒、癒合、不全又は合併症が起こる可能性がある。〕
4. 金属に対するアレルギーのある患者
5. 神経障害、精神障害、アルコール中毒または薬物中毒等の障害があり術者の指示に従えない患者〔術後管理が十分に行えないため、治療が長期化し不具合発現の可能性がある。〕
6. 他社製インプラントや専用器械以外と併用しないこと。
(「相互作用」の項参照)

【形状・構造及び原理等】

本品は、上下顎骨の固定、外科的矯正、下顎骨の再建または顎変形症の治療に使用されるプレートで、JEIL OMFS システム G2 (承認番号: 30300BZX00132000) のスクリーを用いて骨に固定する。各製品の製品名、製品番号、サイズ等は包装表示ラベルを確認すること。

1. 形状 (代表例)

・L プレート



・プリベント Y プレート



・T プレート



・ボックスプレート



・プリベント CH プレート



・サジタルスプリットプレート



・CD プレート



・AE プレート



・ストレートプレート



2. 原材料 チタン (組織・体液等に接触する。)

【原理】骨折部位にプレートを設置し、スクリーで固定する。

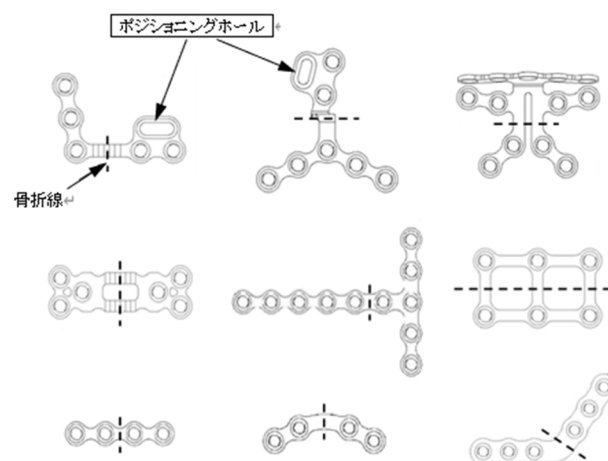
【使用目的又は効果】

本品は、上下顎骨の固定、外科的矯正、下顎骨の再建または顎変形症の治療に使用される。

【使用方法等】

◎本品は、滅菌品であるため、開封後直ちに使用できる。

1. 骨の形状に応じて、適切な種類とサイズのインプラントを選択する。
2. 必要に応じて、プレートベンダーを用いるか手指でプレートを曲げ、プレートカッターで切断する。プレートを曲げる際は、スクリーホールを歪めないように注意すること。また、プレートを切断する際は、破片を生成しないように注意すること。
3. 骨折線に合わせてプレートの固定位置を決定する。



4. 専用ドライバーを用いて全てのスクリーホールをスクリー固定する。
但し、ストレートプレートレギュラータイプの6穴以上と 12 穴リジットでは、骨折線と隣接する部分については臨床的に可能な場合にのみスクリー固定する。ポジショニングホールは、仮固定して固定位置を調整するためのスクリーホールで、位置を決定した後、全てのスクリーホールをスクリー固定する。
5. 骨癒合後に抜去を行う。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- (1) プレートを繰り返し曲げないこと。〔強度が弱くなり、インプラントが破損するおそれがある。〕
- (2) プレートとスクリーの固定が不適切な場合、隆起ができる可能性がある。
- (3) 適切なサイズのプレートとスクリーを選択すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - (1) 医師は、患者に手術に伴うリスクについて説明すること。
 - (2) プレートの選択は、骨質、骨の種類、骨にかかる機能的負荷、及び患者のコンプライアンスを考慮して、慎重に行うこと。
 - (3) 本品は、異常な過度の機能的応力に耐えることを意図していない。
 - (4) 機能的応力が大きい部分に小さめのプレート又はスクリーを使用するとインプラントの破損や失敗を招くおそれがある。
 - (5) 遅延治癒、癒合不全、その後の骨吸収または外傷が、インプラントに過度の応力を与え、緩みや破損を引起す可能性がある。

- * (6) 非臨床試験によって本品は MR Conditional であることが示されている(自己認証による)。本品を装着した患者に対して MR 検査を実施する際は、以下に示す条件を参考にすること;

- ・静磁場強度: 1.5 T, 3.0 T
- ・静磁場強度の勾配: 720 Gauss/cm 以下
- ・MR 装置が示す全身最大 SAR: 2 W/kg

上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じる最大の温度上昇は 10.6 °C 以下である。

本品が 1.5 T の MR 装置における T1 スピンエコー法及び勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から最大 4.64 mm である。

T: Tesla, 磁束密度の単位, SAR: 単位組織質量あたりの吸収熱量、単位は W/kg

2. 相互作用 併用禁忌

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
他社製のインプラント	仕様の違いによる緩み・摩耗を生じる恐れがある。	インプラントが適合しないため、適切に固定されない。
他社製の手術器械	正常な機能を得られない恐れがある。	インプラントと適合しないため、適切に固定されない。
材質の異なるインプラント	腐食の危険性が高まる恐れがある。	異種金属の接触による腐食の促進。

3. 不具合・有害事象

- (1) 骨粗鬆症、血管新生阻害、骨形成不良によるインプラントの緩み、屈曲、ひび割れ、破損あるいは癒着欠如に至る骨固定能力の早期喪失
- (2) 整復が不適切なために起こる骨切り部の癒合遅延や癒合不全または変形治癒
- (3) 感染
- (4) 金属・異物アレルギー反応

【保管方法及び有効期間等】

- ・高温、多湿、直射日光及び水濡れを避けて保管すること。
- ・滅菌有効期間: パッケージの有効期限を参照のこと。[自己認証(当社データ)による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

「製造販売業者」

株式会社プロシード

TEL: 03-5468-1666 FAX: 03-5468-1650

<https://www.proseedcorp.com/>



「製造業者」

Jeil Medical Corp. ジェイルメディカルコーポレーション

Korea 大韓民国